

# P A G I法の50年

## 日本・業界の動き

年度	1952	1953	1954	1955	1956	1957	1958	1959	1960	1961	1962	1963	1964	1965	1966	1967	1968	1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002
	S27	S28	S29	S30	S31	S32	S33	S34	S35	S36	S37	S38	S39	S40	S41	S42	S43	S44	S45	S46	S47	S48	S49	S50	S51	S52	S53	S54	S55	S56	S57	S58	S59	S60	S61	S62	S63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14
日本	テレビ放送開始('5)					カラーテレビ放送開始('60)					大阪万博('70)					沖縄海洋博('75)					銀価格高騰('80)					つくば科学万博('8)					バブル崩壊('91)					阪神大震災('95)															
	神武景気('55)					東京オリンピック('64)					札幌オリンピック('7)					第2次石油危機('79)					国鉄解体('87)					フィルム関税零					長野オリンピック('98)																				
	岩戸景気('59)					いざなぎ景気('69)					石油危機(狂乱物価('73)					東京ディズニーランド('8					元号;平成('89)					Windows 95('9																									
業界						110フィルム('72)					"マビカ"('8					レンズ付きフィルム('86)					デジカメ('95)																														
						24枚撮りフィルム('76)					高機能コンパクトカメラ('84)					APSシステム('96~)																																			
						AFコンパクトカメラ('77)					AF一眼レフカメラ('85)																																								
											8ミリビデオ('8																																								

## 感光材料の進歩

年度	1952	1953	1954	1955	1956	1957	1958	1959	1960	1961	1962	1963	1964	1965	1966	1967	1968	1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002
	S27	S28	S29	S30	S31	S32	S33	S34	S35	S36	S37	S38	S39	S40	S41	S42	S43	S44	S45	S46	S47	S48	S49	S50	S51	S52	S53	S54	S55	S56	S57	S58	S59	S60	S61	S62	S63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14
国内「新製品」に見られる国内カラー感光材料の変遷	第一期					第二期					第三期					第四期					第五期																														
	<アマチュアカラー創世時代>					<アマチュアカラー化普及時代>					<国際化・大量生産時代>					<高感度・高画質時代>					<フィルム多様化・大衆化時代>					<簡易操作性・超高画質時代>																									
	カラーネガ(ASA; 16~50の発売)					汎用感度ASA 100カラーネガの普及					ISO400~3200カラーネガ製品群					分散型ラボ処理方式の普及					デジカメとの競合・共存																														
カプラー技術	・内型カプラー方式カラーフィルム(A/G型)					・マスキングカラーカプラー					・各種機能性放出カプラー																																								
						・乳化分散型内型カプラー(EK型)																																													
層構成技術						・スライドホッパー型同時多層塗布方式																																													
現像処理技術											・海外現像条件適合=EK処理方式(高温/迅速処理)					・簡易/低補充(無配管)処理方式					・デジタル処理ハイブリッド-ラボシステム																														
																・迅速処理方式(カラーペーパー超迅速処理)																																			

## 感光材料の基本技術とゼラチンとの関係

年度	1952	1953	1954	1955	1956	1957	1958	1959	1960	1961	1962	1963	1964	1965	1966	1967	1968	1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002
	S27	S28	S29	S30	S31	S32	S33	S34	S35	S36	S37	S38	S39	S40	S41	S42	S43	S44	S45	S46	S47	S48	S49	S50	S51	S52	S53	S54	S55	S56	S57	S58	S59	S60	S61	S62	S63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14
	・ゼラチン製造工程の一定条件管理																				・層毎にゼラチンに要求する機能性を追求(ゼラチンの物理性、化学性の改質・制御により対応)																														
乳剤技術	・ゼラチンを利用したハロゲン化銀の増感										・粒子形成用ゼラチン(ハロゲン化銀結晶構造制御)										・乳剤用イナートゼラチン																														
カプラー技術											・乳化分散物安定化ゼラチン																																								
層構成技術											・高速重層塗布適正ゼラチン																																								